

取扱説明書

戸建住宅用ディスポーザ 排水処理システム（排水処理部） GAM型

.....《目次》.....	
1. はじめに	1
2. ディスポーザ排水処理システムについて	1
3. 各部の名称と働き	2
4. 一般的留意事項	3
5. ご使用になる前に	4
6. ご使用の際のご注意	5
7. 正しい維持管理を	7
保証書（排水処理部）	8
.....	

注意

取扱説明書本文に出てくる警告および注意表示の部分は、本システムを使用する前に特に注意深く読み、よく理解してください。

本書には保証書を添付しています。保証書に所定の記載事項が記載されているか確認してください。保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して

表示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または物的損害の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します

安全にお使いいただくために

本システムを安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は、安全に関する重要な内容です。

警告 1) 開口部からの転落・傷害事故防止

- 開口部のフタは、必ず閉めてください。
 - フタのひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに交換してください。
 - フタは、子供には触らせないでください。
 - フタを地面やコンクリート面などに置く場合は、落下させずに丁寧に置いてください。
 - フタには、規定の安全荷重を超える車両や重量物などを載せないでください。
- これらの注意を怠ると、転落・傷害の生じる恐れがあります。

警告 2) 感電・発火事故防止

- ブロワのカバーは、開けないでください。
 - ブロワの近く（約 50cm）には、モノを置かないでください。
 - 電線・電源コードの上には、モノを置かないでください。
 - 電源プラグは、ほこりが付着していないか、1年に1回以上は確認してください。
 - ブロワの電気系統が故障した場合は、維持管理業者又は設置業者に連絡してください。
- このような注意を怠ると、感電・発火が生じる恐れがあります。

注意 3) 荷重による器物破損・傷害事故防止

- 設置後の処理装置の上には、規定以上の重量物を載せないでください。
- これらの注意を怠ると、器物破損・傷害が生じる恐れがあります。

1.はじめに

このたびは戸建住宅用ディスポーザ排水処理システムGAM型を設置いただきまして、ありがとうございます。

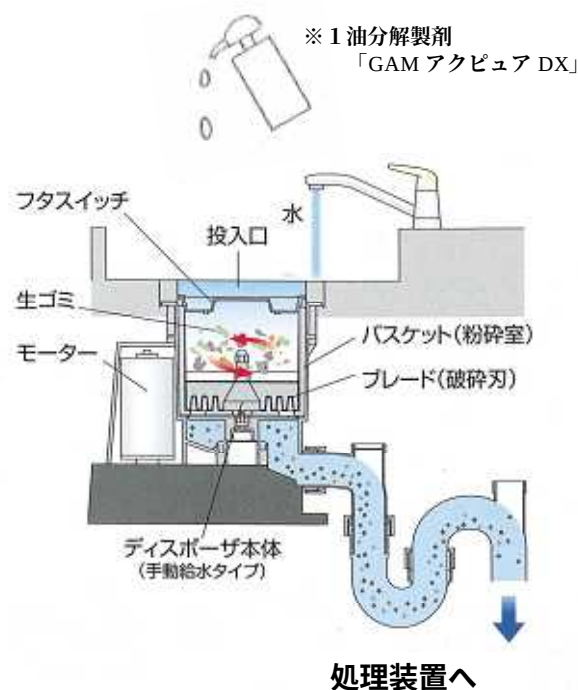
本処理装置が所定の機能を果たすために、以下に示します説明を充分にご理解いただいたうえで、正しくご使用していただくようお願い申し上げます。

※ 現場の状況および行政庁等の指導により、一部仕様の異なる場合があります。

2. ディスポーザ排水処理システムについて

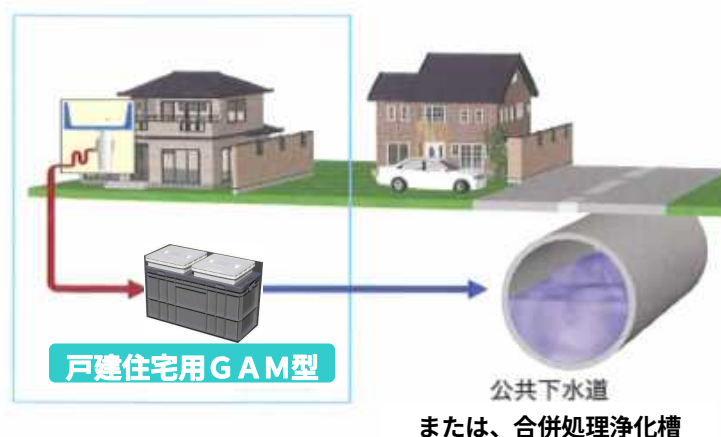
ディスポーザ排水処理システムは、ディスポーザによる粉碎生ごみおよびキッチン排水を処理し、公共下水道または合併処理浄化槽へ放流（接続）するための装置です。

GAM型の場合、排水（台所排水、粉碎生ごみ）は分離スクリーンに導かれ、ここで比重の大きな無機固形物が分離貯留されると共に、分離スクリーン内に投入されている分解促進剤「GAMアクライトLM」により粉碎生ごみ中に含まれる有機固形分の細粒化・可溶化を促進させます。分離後の排水は、反応槽1から反応槽2、3へと順次移送され、このとき排水中に含まれる有機物は、槽内の流動担体に付着した好気性微生物の働きにより浄化されたのち放流されます。なお、本ディスポーザ排水処理システムは「戸建住宅用」として位置付けられます。



※全ての生ゴミが粉碎処理できるわけではありません。
詳しくはディスポーザ本体のカタログをご覧ください。

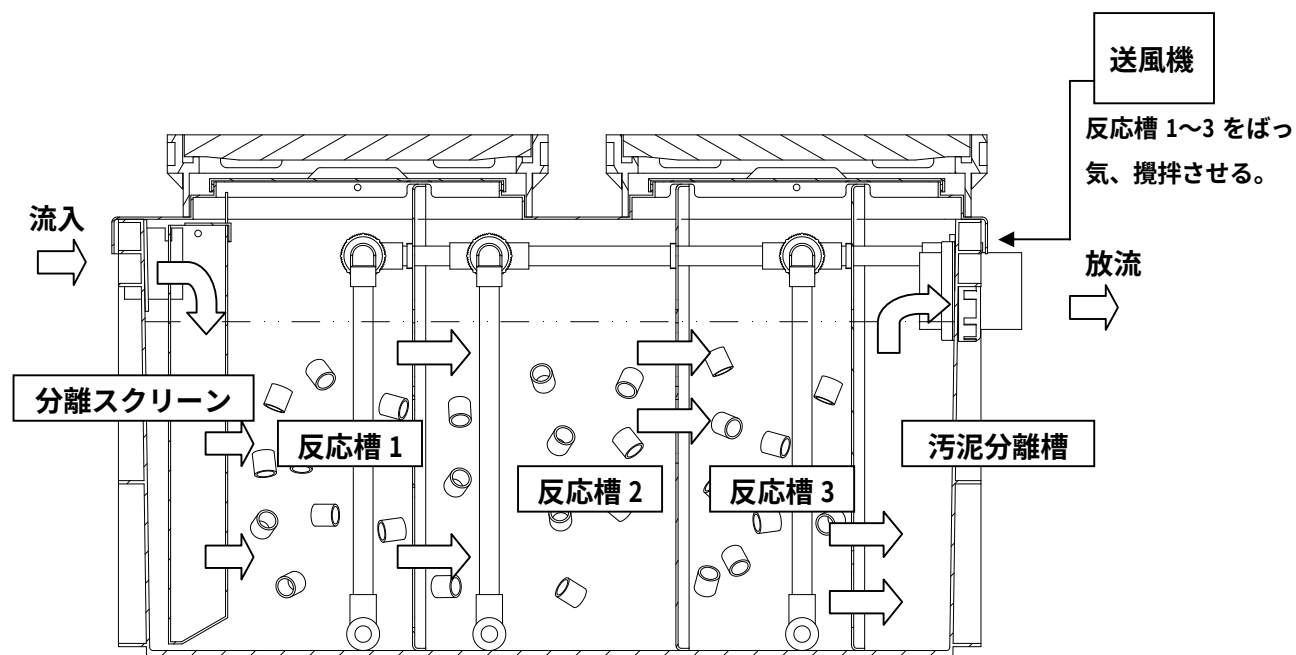
ディスポーザの仕組み (参考)



※1 油分解製剤「GAM アクピュア DX」をディスポーザ使用時に毎日 1～2回プッシュしてください。

3. 各部の名称と働き

GAM型の各部の名称と働きは以下の通りです。



分離スクリーン

流入排水中の鳥骨などの比重の大きい無機固形物を分離貯留します。また、粉碎生ゴミ中に含まれる有機固形物を細粒化・可溶化するはたらきをもつ処理促進剤「GAMアクリイトLM」が入っています。

反応槽 1～3

反応槽 1 にて排水中に含まれる比重の大きな無機固形物を分離貯留し、粉碎生ゴミ中に含まれる有機固形物の細粒化・可溶化を促進します。また分離後の排水は反応槽 1 から反応槽 2、反応槽 3 へと順次移送され、このとき排水中に含まれる有機物は、槽内の流動担体に付着した好気性微生物の働きによって吸着・分解されます。

汚泥分離槽

排水処理によって発生した汚泥を重力分離し貯留すると共に処理水質を良好に保ちます。

4. 一般的留意事項

- ① 処理装置の機能を正常に維持するために、次の事項を守るようにしてください。
 1. ディスポーザー使用時の水量は、適正量とすること。5 頁参照
 2. 殺虫剤、防臭剤、油脂類等、処理装置の正常な機能を妨げるものは、混入させないこと。
 3. 処理装置には、流し台から以外の排水を混入させないこと。
 4. ブロワの電源を切らないこと。
 5. 処理装置の上部または周辺には、保守点検または清掃に支障を及ぼす恐れのある構造物を設けないこと。
 6. 処理装置の上部には、その機能に支障を及ぼす恐れのある荷重をかけないこと。
 7. 処理装置に故障または異常を認めたときは、直ちに維持管理者にその旨を通報すること。
- ② ブロワの電源は、防水型接地端子付コンセントをご使用ください。また、電源プラグは、ほこりなどが付着していないか確認し、がたつきの有無についても確認してください。ほこりなどが付着し、接続が不完全な場合は感電や火災が生じる恐れがありますので、ご注意ください。
- ③ 処理装置の維持管理（保守点検・清掃等）は当社指定の保守点検業者と契約してください。汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた清掃業者に依頼してください。
- ④ 1 年に 1 回以上、指定検査機関の水質検査を必ず受けてください。
この検査で不詳なことは、弊社または維持管理業者にご相談ください。
- ⑤ 10 日間以上、居住者が留守（転居・家屋売却なども含む）にする場合は、維持管理業者にあらかじめご相談ください。
- ⑥ ブロワなどから異常な騒音・振動が発生したり、また、悪臭などでお困りのときは、施工業者または維持管理業者にご相談ください。
- ⑦ 処理装置の設置説明書や維持管理要領書、取扱説明書などを紛失・汚損された場合は、弊社にご連絡ください。
その他、不詳な点は、弊社お客様窓口にお問い合わせください。

5. ご使用になる前に

維持管理契約はお済みになりましたか

処理装置の正常な働きを維持するために、定期的に維持管理（保守点検および清掃）を6ヶ月に1回以上、また水質に関する検査を1年に1回以上受けなければなりません。

汚泥引き抜きなどは、都道府県および市町村の登録・許可業者にご依頼ください。

なお、処理装置は、弊社独自の処理方式ですので、弊社推薦の維持管理業者と契約することをお勧めいたします。

契約がまだお済みでなければ、お買い上げ業者または、弊社お客様窓口へご連絡ください。維持管理業者をご紹介します。

6. ご使用の際のご注意

●ディスポーザで粉碎処理可能な食品生ごみ以外は投入口に絶対に入れないでください。故障や排水管の詰まりの原因になります。また、処理装置で正常な処理ができなくなります。

【処理対象外生ごみ】

項目	品名
ディスポーザが作動しなくなったり、ディスポーザの刃を傷めるもの	スプーン・フォーク・王冠・プルトップ栓などの金属，コップ・瓶などのガラス片，茶碗・皿・箸置きなどの陶器片，石，砂またはそれらに類するもの
ディスポーザは作動するが、粉碎できずにディスポーザ内部に残るもの また、配管詰まりを起こしやすいもの	卵の殻，鰻などの生魚の皮，生の鶏の皮，牛・豚の骨，全ての貝殻，カニなどの殻，バナナのへた(なり口)，とうもろこし・パイナップルの芯・皮，筍の皮，栗の皮，大量の枝豆，割り箸，豆腐・納豆などのプラスチック容器，竹串，爪楊枝，マッチ棒，輪ゴム，包装紙(ラップ)，生のお米，一度に大量のご飯，アルミホイル，ビニール袋，発泡スチロール，トレイ，キッチンペーパー，ティッシュペーパー，針金，またはそれらに類するもの
ディスポーザや配管を傷めるもの	熱湯・熱い天ぷら油・熱いカレーなどの高温のもの，またはそれらに類するもの
排水処理部の処理機能を妨げるもの	多量の生クリーム・マヨネーズ，サラダ油・天ぷら油などの廃油・凝固した油，たばこの吸い殻・灰，大量の酸性・アルカリ性洗剤，殺虫剤，防臭剤，大量の薬品，台所用洗剤，配管洗浄剤，漂白剤またはそれらに類するもの

●ディスポーザ使用時の水は適正量流してください。

水を長時間流したままの使用は避けてください。ディスポーザ使用時の水量は機種によって異なりますので、ディスポーザ付属の取扱説明書をご覧ください。一般的には毎分8リットル（親指の太さ程度）の水を流します。



※水を流さないと、粉碎処理が正常にできず、ディスポーザ内部部品がはやく磨耗する原因となります。また、排水管に粉碎生ゴミが堆積し詰まりの原因となります。

※その他、詳細はディスポーザ付属の取扱説明書をご覧ください。

- 本処理装置は、処理を効率的に行うために液状の油分解剤「GAMアクピュアDX」と固形状の排水処理促進剤「GAMアクライトLM」を使用します。

(1) 油分解剤「GAMアクピュアDX」

本剤は、液体剤として 300ml プッシュポンプボトル容器で提供されます。台所排水やディスポーザで粉碎処理を行った生ゴミ排水に含まれる油分を早期に効果的に分解促進させるためのもので、台所より**1日1, 2回程度ワンプッシュして生ゴミと一緒に水で流して使用します**。標準的な使用量で、6ヶ月～1年程度ご使用いただけますが、本剤が無くなった場合は、弊社宛商品をお買い求め下さい。

※本剤は、油をキッチンシンクから流す事を許容するものではありません。油をキッチンシンクから流す事は排水処理の機能障害の原因となりますので流す事の無いよう十分ご注意ください。



(2) 処理促進剤「GAMアクライトLM」

本剤は、布袋（不織布）に包装された固形剤で排水処理装置の分離スクリーン内に投入して使用します。

処理装置内で徐々に水中に成分が溶け出し、微生物に栄養源を供給して活性を維持したり、排水から発生する臭気を吸着したりするなど排水処理装置における処理機能の安定化を図ります。標準的な使用方法で、6ヶ月～1年程度ご使用いただけますが、分離スクリーンの清掃点検の都度、本剤の残量をご確認いただき、無くなった場合は、弊社宛商品をお買い求め下さい。



- ブロワの電源は絶対に切らないでください。

ブロワが停止すると、処理装置内のバクテリアが死滅し、汚水の浄化機能が停止します。また排水や生ゴミが腐敗するため悪臭を放ちます。

- 床下や物置の中など、維持管理できない場所には、絶対に設置しないでください。

維持管理や汚泥の引き抜きが行えないため、排水処理の障害や悪臭発生の原因となります。

7. 正しい維持管理を

処理装置の維持管理は、専門の業者が行います。その業務について概略をご理解下さい。

(1) 維持管理とは

維持管理とは、処理装置の健康診断のことです。処理装置内の微生物の活動により、休むことなく浄化が行われています。したがって、処理装置の正常な機能を維持し、適正な水質を確保するためには、定期的に保守点検（健康診断）をして、異常の早期発見と適正な清掃、修理（治療）をしなければなりません。これが維持管理です。

この他に1年に1回以上、指定検査機関にて水質検査を実施する必要があります。

※維持管理が不十分だと処理水質悪化の原因になります。

(2) 維持管理の内容

維持管理（保守点検）の業務内容

	内 容		内 容
排 水 処 理 装 置	1. 分離スクリーン貯留物の除去	送 風 機	1. 送気状態の確認
	2. 処理促進剤「GAMアクライトLM」の補充		2. 消耗部品の点検、交換
	3. 散気・水流状態の点検		3. エアフィルターの点検と清掃、交換
	4. 担体の流動性確認、調整		4. その他、各部の点検
	5. 水位の確認、移流部の清掃		
	6. 異物の流入状況の確認、除去		
	7. 担体分離槽状況の確認 固形物、スカムの除去		
	8. 防虫、防臭などの措置		

維持管理回数

保守点検	6ヶ月に1回以上
水質検査	1年に1回以上

維持管理は、弊社が推奨する維持管理業者に委託してください。

処理装置の清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者などに委託してください。

(3) 維持管理の費用

維持管理の費用は、お住まいの地域によって多少異なります。ご契約の際、維持管理業者にお問い合わせ下さい。清掃費、水質検査費などは別料金となり、交換部品（消耗部品含む）、修理費などは実費計算となります。

保証書（排水処理部）

- ① 本書は、本書記載内容（次項記載）に従って修理を行うことをお約束するものです。
- ② 使用開始日より保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売・施工業者または維持管理業者などに修理をご依頼ください。
- ③ 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

型式名	GAM-5 型
-----	---------

保 証 期 間	対象部品	期間（使用開始日より）	駆動部はブロワの設置設備類 を含む
	槽本体	3 年	
	ブロワ	1 年	

但し、ダイヤフラム等の消耗部品は除く。

*据 付 日	平成	年	月	日
*使用開始日	平成	年	月	日
*使 用 者 (設置者)	ご住所			
	お名前			
	電 話	(	)	

修理記録

年 月 日	内 容	業 者 名
・ ・		
・ ・		
・ ・		

*施工業者 住 所
社 名
電 話 () —

®

*印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

MAX マックス株式会社

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112 FAX 03-3669-8135

修理規程

1. 取扱説明書に従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. 保証期間内に、故障して修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売・施工業者または維持管理業者にご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
3. 保証期間内にご転居の場合には、保証書の書き換えがありますので事前に弊社までご連絡ください。
4. 本書に記入してある施工業者または維持管理業者等に修理をご依頼にならない場合には、お近くの弊社窓口へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りによる故障または損傷
 - (ロ) 適切な維持管理がなされていないとき
 - (ハ) 適切な工事がなされていないとき
 - (ニ) 改造や不適切な修理による故障または損傷
 - (ホ) 駆動部の取付場所の移動等による故障または損傷
 - (ヘ) 重量車両の通行・振動による故障または損傷
 - (ト) 火災、地震、水害、落雷、雪害その他の天災地変による故障または損傷
 - (チ) 本書の提示のない場合
6. 本書は日本国内に於いてのみ有効です。
7. その他のご注意事項
 - (イ) 使用者（設置者）は定期的に保守点検、清掃、水質検査を行ってください。これらの費用は保証期間内でも別途ご使用者（設置者）のご負担となります。
 - (ロ) この保証書は「機能」を保証するもので、「性能」を保証するものではありません。
 - (ハ) 本書に使用開始日または据付日、使用者（設置者）、施工業者の記入のない場合及び字句を書き替えられた場合は、この保証書は無効です。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理については、施工業者、維持管理業者または、お近くの弊社窓口にお問い合わせください。

修理のご依頼は マックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ

修理



☎ 0120-822-060

受付時間（祝日・年末年始・夏季休暇は除く）
月～金曜日9:00～19:00 土曜日9:00～18:00

マックス カスタマーセンター

〒333-0843 埼玉県川口市前上町18-20
TEL 048-266-8373 FAX 048-269-6077

製品についてのお問い合わせは マックス（株）へ

製品



☎ 0120-228-428

受付時間（祝日・年末年始・夏季休暇は除く）
月～金曜日9:00～18:00

住環境機器お客様相談窓口

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112 FAX 03-3669-8135